



年末年始の火災予防について

おうち時間 家族で点検 火の始末

駿東伊豆消防本部管内では、火災が昨年に比べ増加傾向にあり、これまでに8人の尊い命が失われています。

これから空気が乾燥し、暖房器具や火気を使用する機会が増えることから、火災が発生しやすい時季を迎えます。

また、年末年始は何かと忙しくなり、火に対する注意がおろそかになりがちです。

かけがえのない命と財産を守るために、お出かけ前やお休み前はもちろんのこと、火の元には十分注意し、火災のない年末年始を過ごしましょう。

家庭及び地域における防火対策

この時季は、暖房器具をはじめとする火気の使用が多くなります。

火災はちょっとした不注意や火の不始末で起きていますので、これらの暖房器具は正しく十分注意して取り扱しましょう。

また、家の周囲などを整理整頓し、照明で明るくするなど、地域ぐるみで放火されにくい環境を作りましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣

- 1 **寝たばこ**は絶対にしない、させない。
- 2 **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない。
- 3 **こんろ**を使うときは火のそばを離れない。
- 4 **コンセント**はほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は、**安全装置**の付いた機器を使用する。
- 2 火災早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、**防火品**を使用する。
- 4 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく。
- 5 お年寄りや体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく。
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う。